

RESAS

を分析してみよう

静岡県
島田市

RESAS(地域経済分析システム)は、地域経済に関する様々なデータ(産業の強み、人の流れ、人口動態など)をグラフで分かりやすく「見える化(可視化)」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

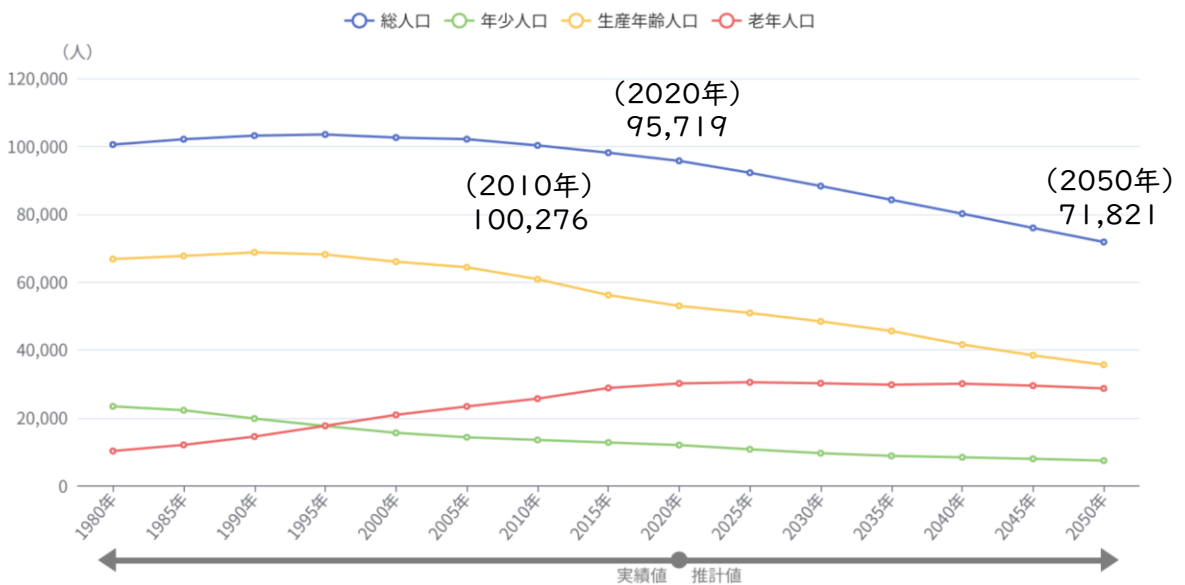
人口

<https://resas.go.jp>

RESAS



人口推移グラフ
静岡県島田市



【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】

2020年までは「国勢調査」のデータに基づく実績値、2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）をまとめて推計しているため表示されない。

総数には年齢不詳を含む。

*人口マップ→人口構成分析→人口推移

年齢別人口推移

2020年の人口は総人口95,719人。10年前(2010年)の100,276人と比較すると減少傾向にあり、2050年にかけてさらに減少傾向が続く見込みである。

また、年齢別に将来の傾向をみると、年少人口や生産年齢人口は減少傾向、老年人口は横ばいからやや減少傾向にあるが、減少幅が少ないため、老年人口割合が増加する傾向にある。

よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。

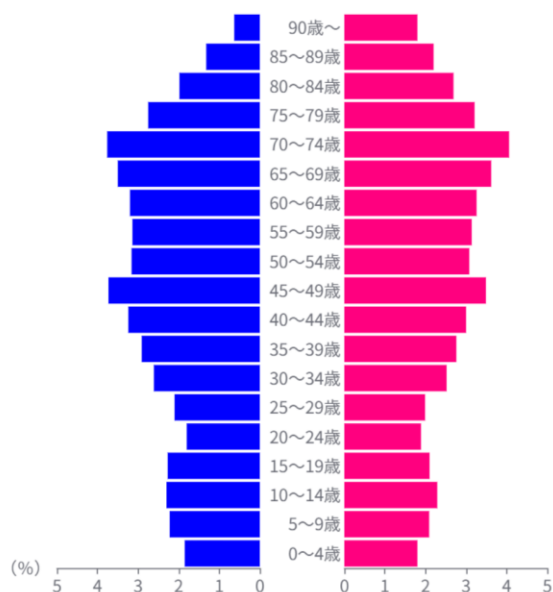
※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15~64歳、老年人口は65歳以上をさす。

人口

人口ピラミッド 静岡県島田市

2020年

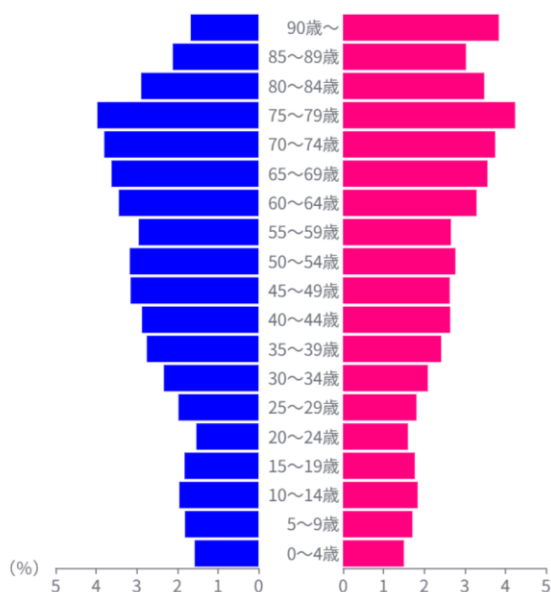
■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：30,176人（31.53%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：53,013人（55.38%）
年少人口（0歳～14歳）：12,022人（12.56%）

2050年

■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：28,703人（39.96%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：35,667人（49.66%）
年少人口（0歳～14歳）：7,451人（10.37%）

【出典】

総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】

2025年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（令和5年12月公表）に基づく推計値。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

2025年以降のデータでは、福島県「浜通り地域」に属する13市町村（いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村）をまとめて推計しているため表示されない。

総数には年齢不詳を含む。

*人口マップ→人口構成分析→人口ピラミッド

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2050年の人口ピラミッドは「つぼ型」である。老年人口の割合をみると、2020年の31.53%から2050年には39.96%まで増加する。また、生産年齢人口は2020年の55.38%から49.66%まで減少する見込みである。

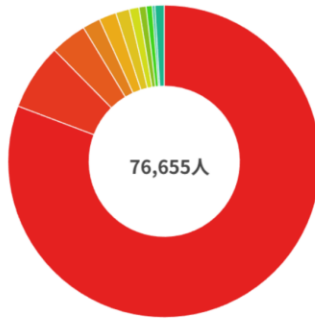
人口

昼間人口・夜間人口の地域別構成割合

2020年 静岡県 島田市
昼間人口：76,655人
夜間人口：83,697人
(昼夜間人口比率：91.59%)

昼間人口

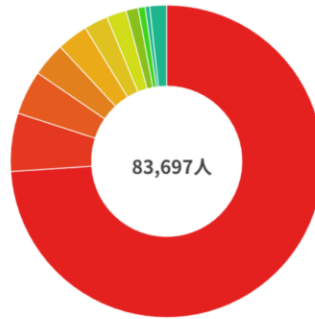
(指定地域内に日中滞在する人の居住地)



- 1位 静岡県島田市 61,899人 (80.75%)
- 2位 静岡県藤枝市 5,253人 (6.85%)
- 3位 静岡県焼津市 2,872人 (3.75%)
- 4位 静岡県静岡市 1,410人 (1.84%)
- 5位 静岡県吉田町 1,369人 (1.79%)
- 6位 静岡県牧之原市 1,083人 (1.41%)
- 7位 静岡県掛川市 772人 (1.01%)
- 8位 静岡県菊川市 568人 (0.74%)
- 9位 静岡県川根本町 482人 (0.63%)
- 10位 静岡県浜松市 202人 (0.26%)
- その他 745人 (0.97%)

夜間人口

(指定地域内に居住する人の日中の滞在先)



- 1位 静岡県島田市 61,899人 (73.96%)
- 2位 静岡県藤枝市 5,043人 (6.03%)
- 3位 静岡県静岡市 3,830人 (4.58%)
- 4位 静岡県焼津市 2,947人 (3.52%)
- 5位 静岡県牧之原市 2,688人 (3.21%)
- 6位 静岡県吉田町 2,060人 (2.46%)
- 7位 静岡県掛川市 1,722人 (2.06%)
- 8位 静岡県菊川市 1,044人 (1.25%)
- 9位 静岡県浜松市 614人 (0.73%)
- 10位 静岡県川根本町 388人 (0.46%)
- その他 1,462人 (1.75%)

【出典】

総務省「国勢調査」

【注記】

昼間人口：この画面においては、就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地における15歳以上の人口であり、従業地・通学地集計の結果を用いて算出された人口をいう。

算出方法は「地域に常住する人口」-「地域から通勤者又は通学者として流出する人口」+「その地域へ通勤者又は通学者として流入する人口」

テレワーク勤務に関しては、定義上ふだんからテレワーク勤務が半分未満の場合は勤め先の所在地が従業地となるため、「流出口」「流入人口」に含まれるが、テレワーク勤務が半分以上の場合は、自宅を従業地とするため、「流出口」「流入人口」に含まれない。

夜間勤務の者、夜間の学校に通っている者も便宜上昼間就業者・昼間通学者とみなして昼間人口に含めているが、買物客などの非定期的な移動については考慮していない。

夜間人口：この画面においては、地域に常住している15歳以上の人口である。

昼夜間人口比率：この画面においては、夜間人口100人当たり（15歳以上）の昼間人口（15歳以上）の割合であり、100を超えているときは通勤・通学人口の流入超過、100を下回っているときは流出超過を示している。

「平成22年国勢調査」による数値に関して、平成22年10月1日以降に合併した岩手県一関市（一関市、藤沢町）、栃木県栃木市（栃木市、西方町、岩舟町）、埼玉県川口市（川口市、鳩ヶ谷市）、愛知県西尾市（西尾市、一色町、吉良町、及び幡豆町）、島根県松江市（松江市、東出雲町）、島根県出雲市（出雲市、斐川町）の6自治体については、市町村合併を考慮した調整を実施している。

*人口マップ→通勤通学人口分析→地域間流動

滞在人口（2020年）

昼間人口と夜間人口を地域別構成割合で示したグラフである。

島田市の昼間人口は76,655人、夜間人口は83,697人である。昼夜間人口比率91.59%と、通勤・通学等での人口流出が多いことがわかる。

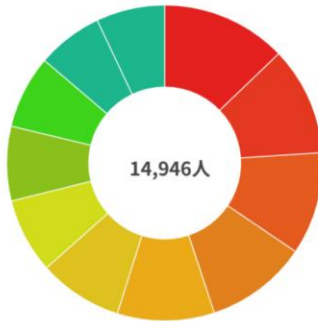
※15歳以上の人口を対象として算出している。

人口

流入者数・流出者数の年齢階級別構成割合

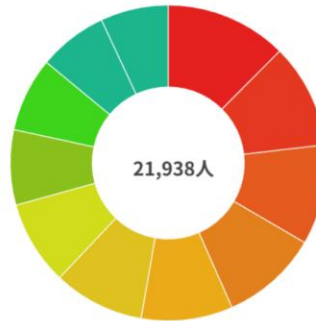
2020年 静岡県 島田市
通勤者・通学者で見える
総数
流入者数：14,946人
流出者数：21,938人
(流出超過数：6,992人)

流入者数



- 1位 45～49歳 1,917人 (12.83%)
- 2位 15～19歳 1,662人 (11.12%)
- 3位 40～44歳 1,574人 (10.53%)
- 4位 50～54歳 1,559人 (10.43%)
- 5位 55～59歳 1,486人 (9.94%)
- 6位 35～39歳 1,285人 (8.60%)
- 7位 60～64歳 1,148人 (7.68%)
- 8位 30～34歳 1,139人 (7.62%)
- 9位 65歳以上 1,120人 (7.49%)
- 10位 25～29歳 1,005人 (6.72%)
- その他 1,051人 (7.03%)

流出者数



- 1位 45～49歳 2,733人 (12.46%)
- 2位 40～44歳 2,348人 (10.70%)
- 3位 35～39歳 2,247人 (10.24%)
- 4位 50～54歳 2,189人 (9.98%)
- 5位 30～34歳 2,056人 (9.37%)
- 6位 55～59歳 2,043人 (9.31%)
- 7位 15～19歳 1,894人 (8.63%)
- 8位 20～24歳 1,688人 (7.69%)
- 9位 25～29歳 1,669人 (7.61%)
- 10位 60～64歳 1,546人 (7.05%)
- その他 1,525人 (6.95%)

【出典】
総務省「国勢調査」

【注記】

通勤者：この画面においては、15歳以上の自宅以外の場所で就業する者をいう。

ただし、ふだんからテレワーク勤務が半分以上の場合は、勤め先の所在地が従業地となるため、通勤者に含まれるが、テレワーク勤務が半分以上の場合は、自宅を従業地とするため、通勤者には含まれない。

通勤者・通学者：この画面においては、15歳未満も含む通勤者（自宅以外の場所で就業する者）と15歳未満も含む通学者（主に高等学校や専修学校、各種学校に通学する者）の合計を指す。

ただし、ふだんからテレワーク勤務が半分以上の場合は、勤め先の所在地が従業地となるため、通勤者に含まれるが、テレワーク勤務が半分以上の場合は、自宅を従業地とするため、通勤者には含まれない。

この画面において、流入者数、流出者数、流入超過数、流出超過数には、特別区間および同じ政令指定都市下の行政区間の流入者数・流出者数は含まれていない。

「平成22年国勢調査」による数値に関して、平成22年10月1日以降に合併した岩手県一関市（一関市、藤沢町）、栃木県栃木市（栃木市、西方町、岩舟町）、埼玉県川口市（川口市、鳩ヶ谷市）、愛知県西尾市（西尾市、一色町、吉良町、及び幡豆町）、鳥根県松江市（松江市、東出雲町）、鳥根県出雲市（出雲市、斐川町）の6自治体については、市町村合併を考慮した調整を実施している。

*人口マップ→通勤通学人口分析→属性別流動

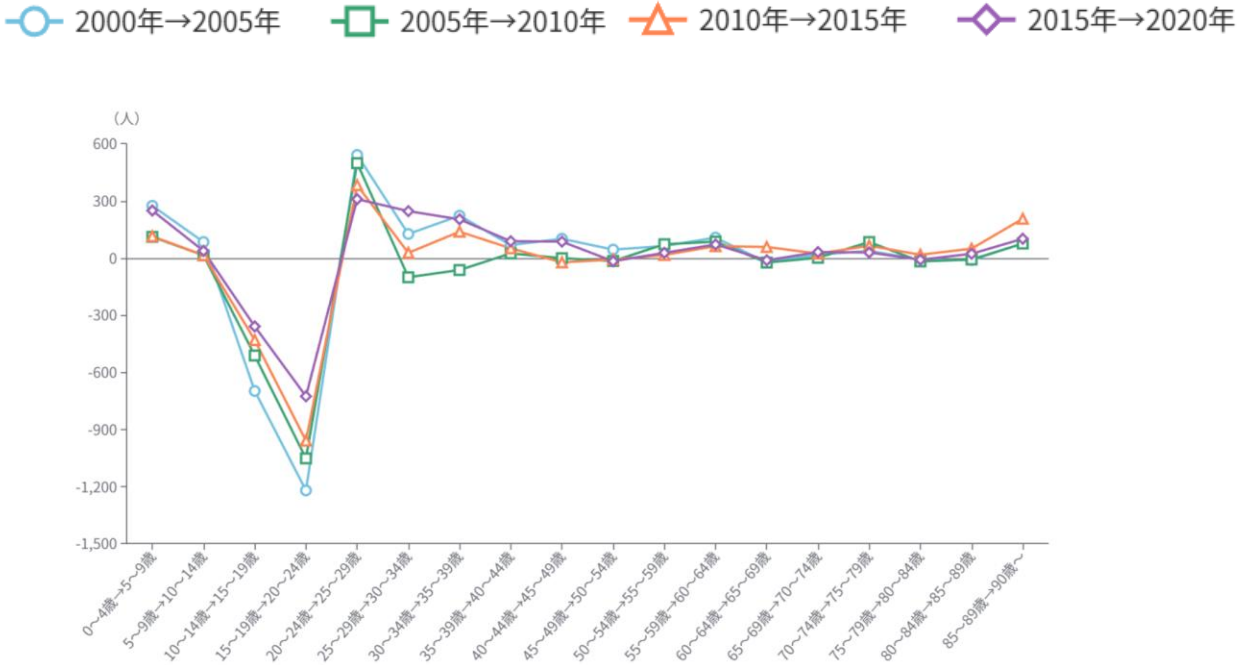
流入・流出者数（2020年）

島田市内外への流入・流出者数を年齢階級別構成割合で示したグラフである。流出超過数が6,992人と市外への流出者が多い地域であることがわかる。

また、流入者数・流出者数ともに45～49歳がもっとも多くなっている。

人口

年齢階級別純移動数の時系列分析
静岡県島田市



【出典】

総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきデジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

*人口マップ→社会増減分析→人口移動

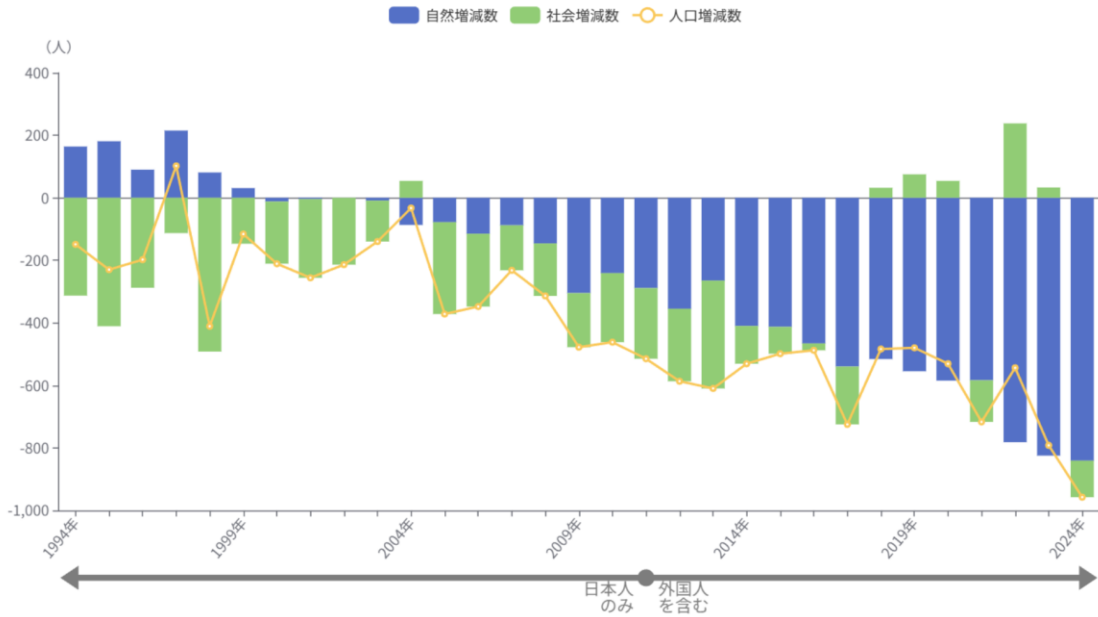
年齢階級別純移動数時系列分析

年齢階級別純移動数の時系列推移は、主に大学進学時（15～19歳→20～24歳）に人口が流出し、就職時（20～24歳→25～29歳）に人口が流入する。その後、30～40歳代では概ね均衡に近い水準で推移しており、子育て世代以降定着傾向にある。

人口

自然増減・社会増減の推移(折れ線)

静岡県島田市



【出典】

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工

【注記】

2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

2006年に甲府市と富士河口湖町に分割編入した山梨県上九一色村については、富士河口湖町に統合している。

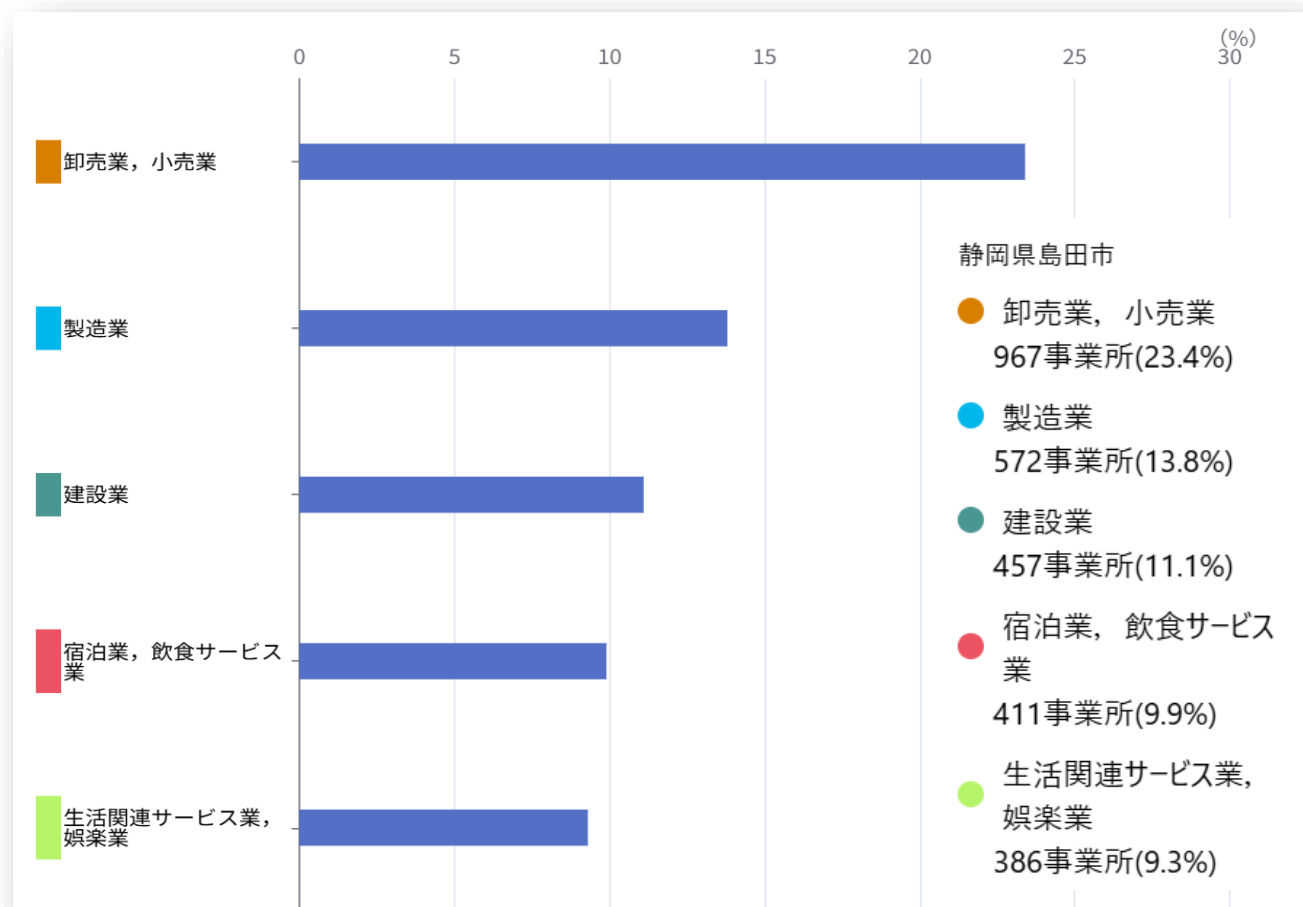
*人口マップ→人口増減分析→グラフ

自然増減・社会増減の推移

自然増減数(出生数から死亡数を引いた値)と社会増減数(転入者数から転出者数を差し引いた数値)の推移を示したグラフである。近年、自然減の傾向が強く、全体の人口としては減少している。

産業構造

事業所数(事業所単位): 4,134事業所

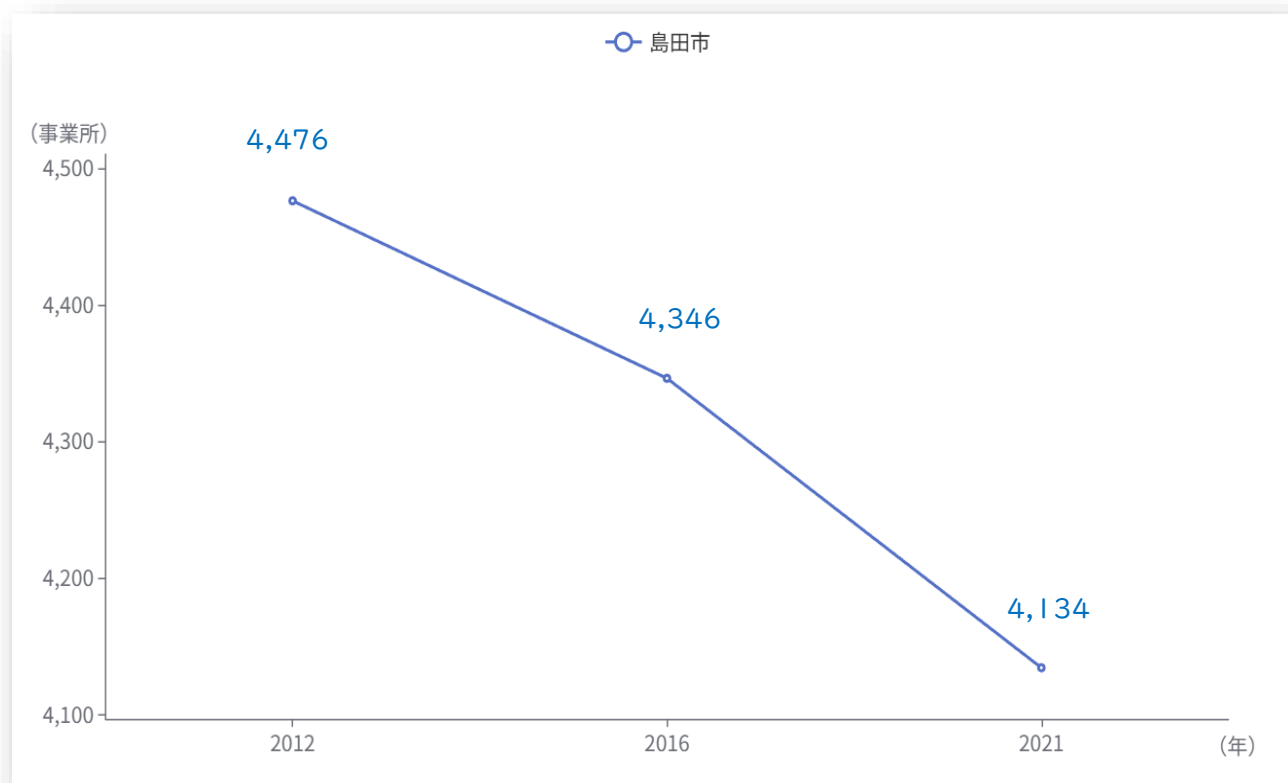


*産業構造マップ→産業構造分析→産業構成(事業所数)

事業所数(事業所単位) 大分類 (2021年)

業種ごとの事業所数を上位順に示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業,小売業」の967事業所で、全体の23.4%を占めている。その後「製造業」の572事業所の13.8%が続く。

産業構造



*産業構造マップ→産業構造分析→推移(事業所数)

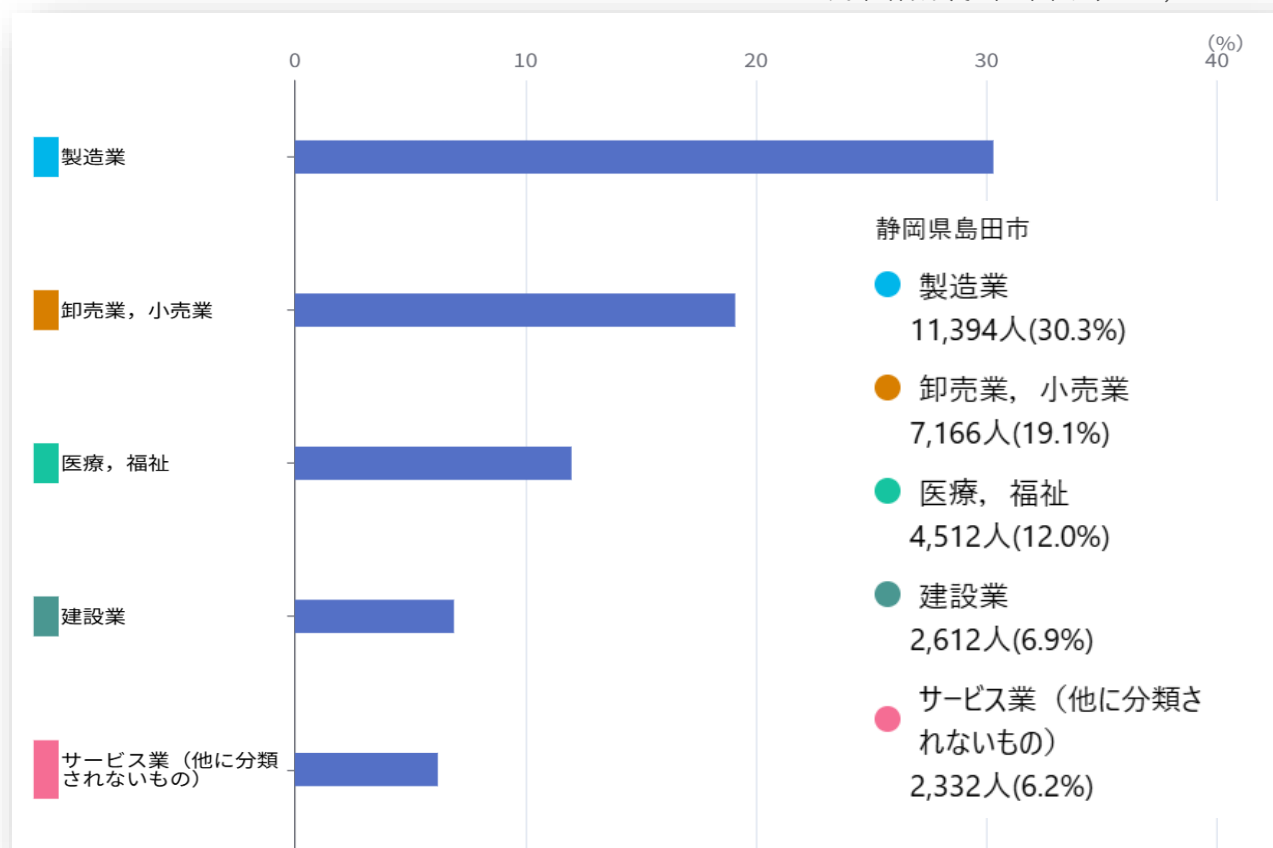
事業所数の推移 (2021年)

事業所数の推移をみる。

2021年は4,134事業所であり、5年前の2016年は4,346事業所だったので、比較すると4.9%減少している。

産業構造

従業者数(事業所単位):37,608人



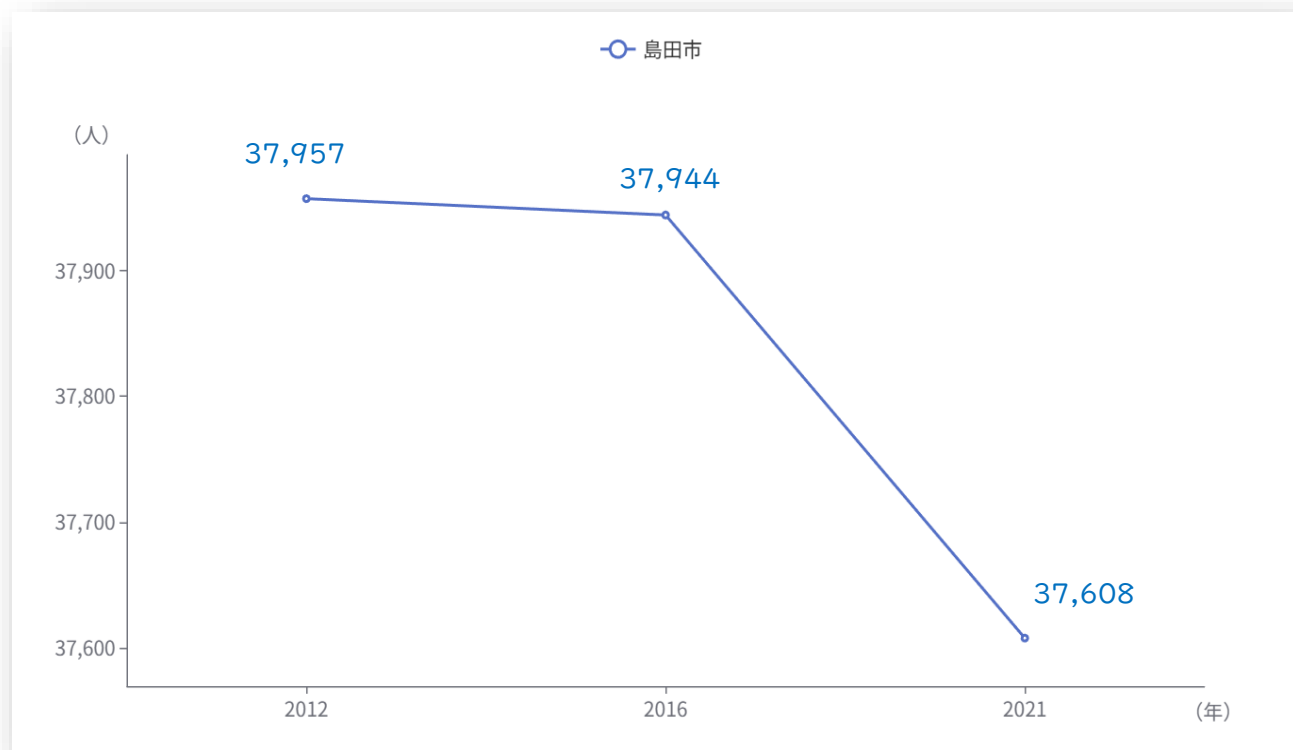
*産業構造マップ→産業構造分析→産業構成(従業員数)

従業者数 (2021年)

業種ごとの従業者数を上位順に示したグラフである。

もっとも多いのは「製造業」の11,394人で、全体の30.3%を占めている。その後「卸売業,小売業」の7,166人の19.1%が続く。

産業構造



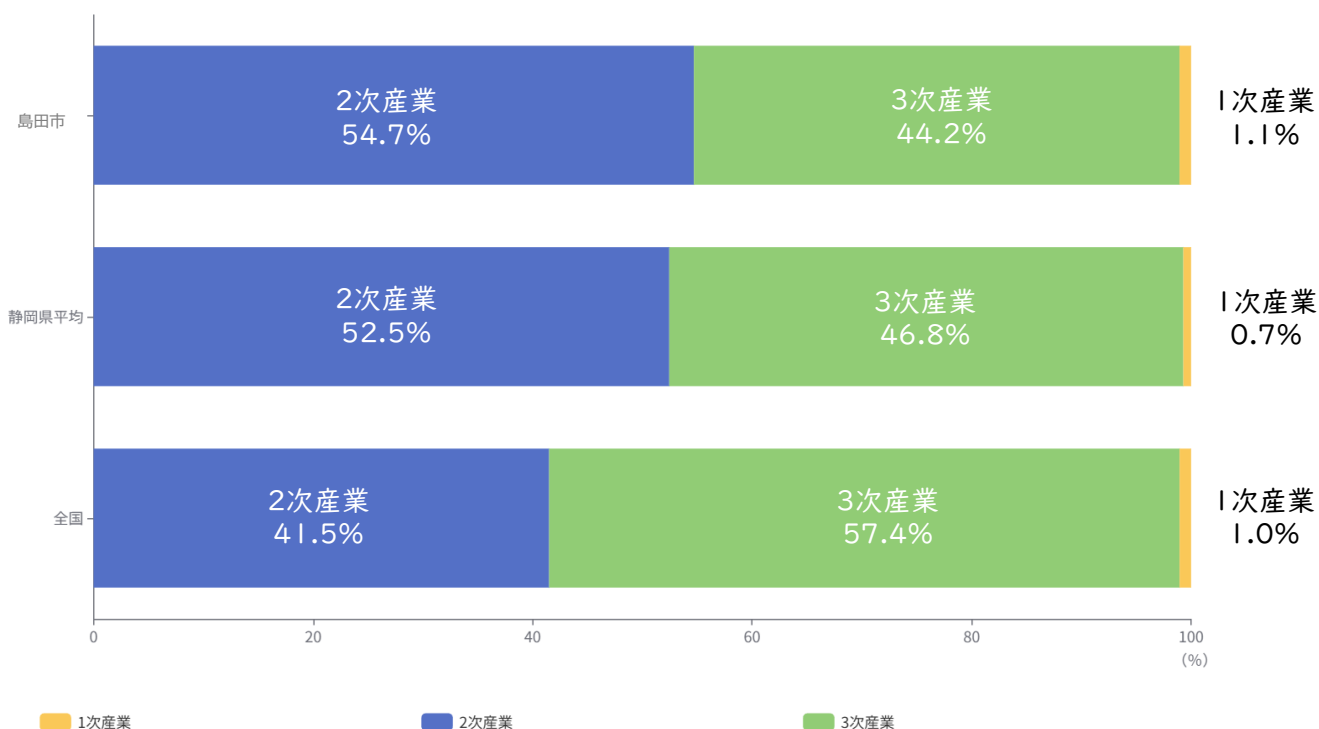
*産業構造マップ→産業構造分析→推移(従業員数)

従業者数の推移 (2021年)

従業者数の推移をみる。

2021年は37,608人、5年前の2016年は37,944人だったので、比較すると0.9%減少している。

産業構造



*地域経済循環マップ→生産分析→地域産業の構造

地域内産業の構成割合 (2022年)

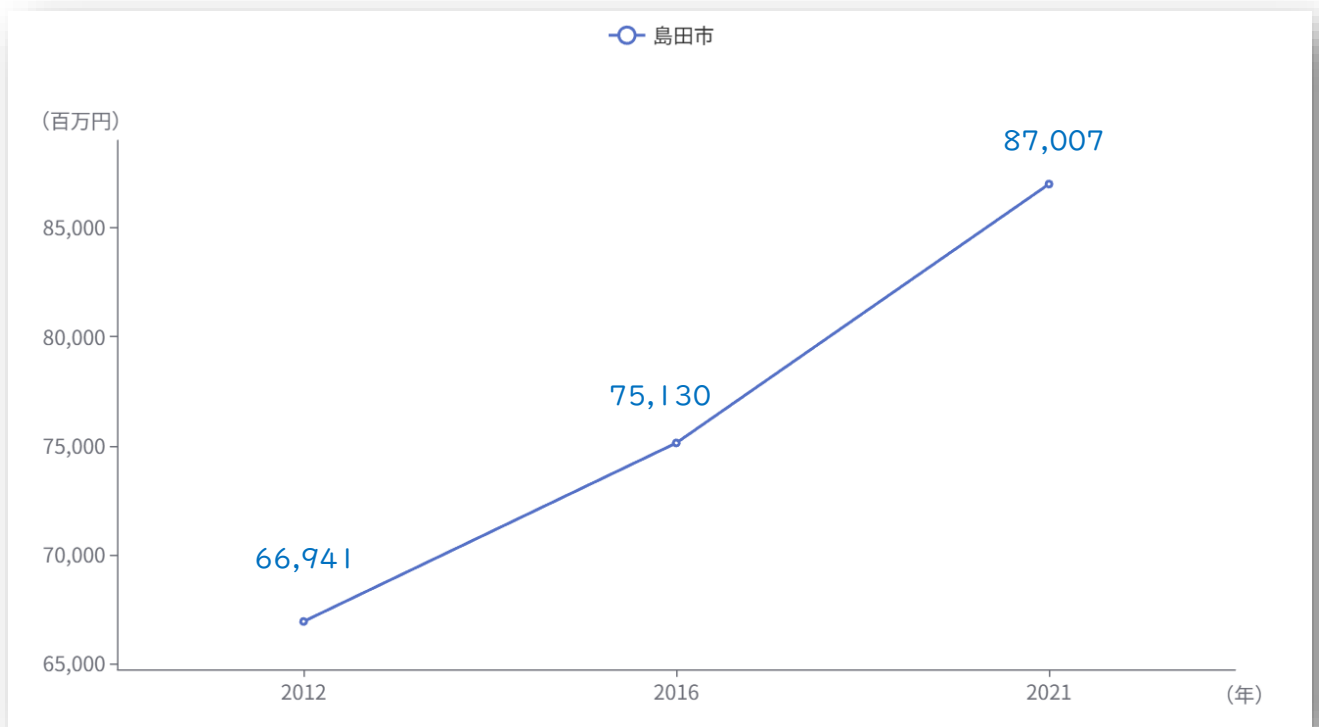
島田市の生産額を指標に産業の構成割合を全国および静岡県平均と比較したグラフである。2次産業の割合が54.7%であり、全国および静岡県平均と比べて高い。一方、3次産業の割合は、44.2%と全国および静岡県平均と比べて低い。

*1次産業・・・農業、林業、漁業など

*2次産業・・・製造業、建設業、工業など

*3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、外食産業・情報通信産業など

小売業・卸売業



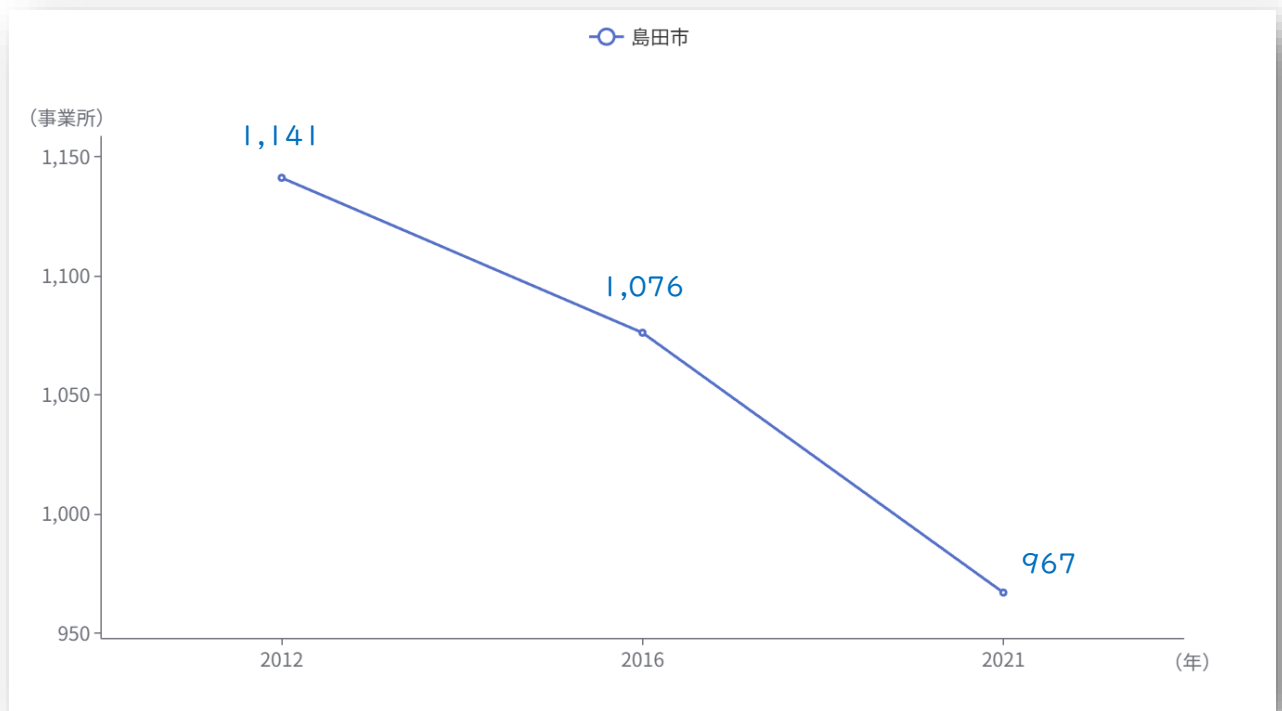
*産業構造マップ→産業構造→推移

売上高(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の売上高の推移を示したグラフである。

2021年の売上高は87,007百万円である。9年前の2012年と比較すると66,941百万円なので、30.0%増である。

小売業・卸売業



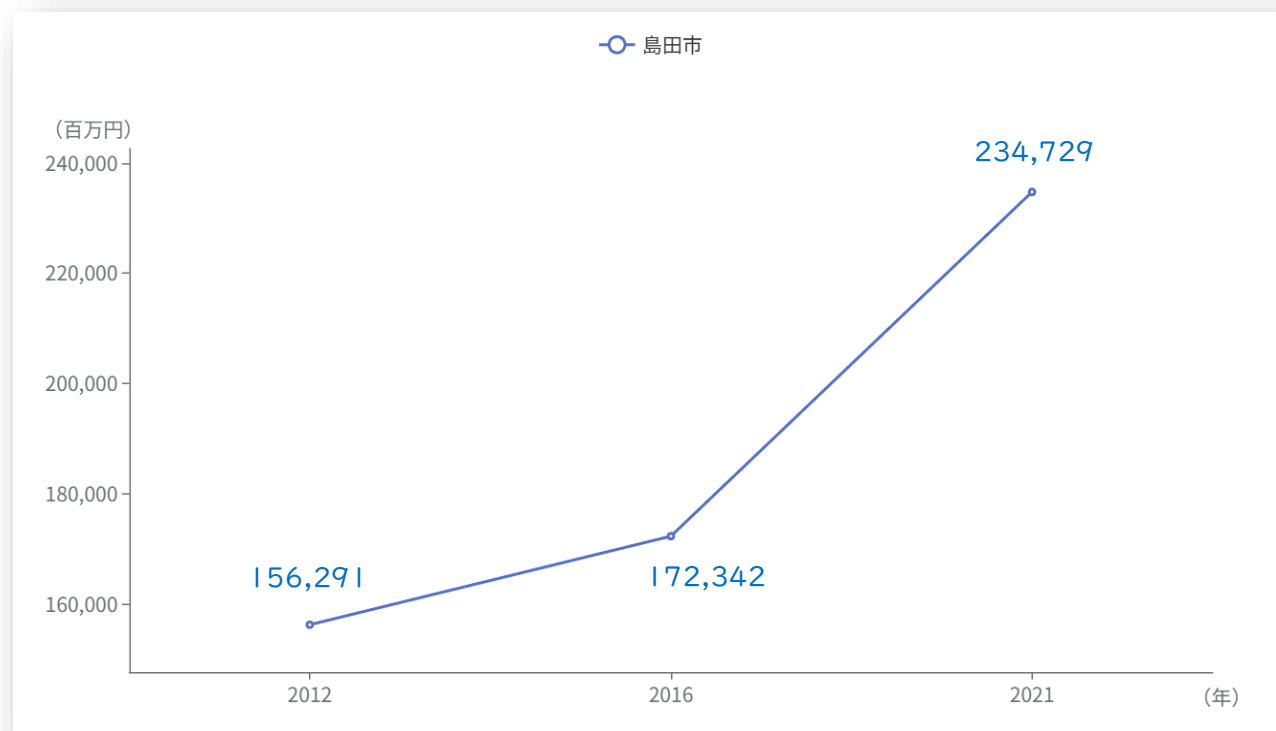
*産業構造マップ^o→産業構造→推移

事業所数(小売業・卸売業)の推移 (2021年)

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。

2021年の事業所数は967事業所、2016年は1,076事業所であり、2016年と比較すると、10.1%減となっている。

製造業



*産業構造マップ^o→産業構造→推移

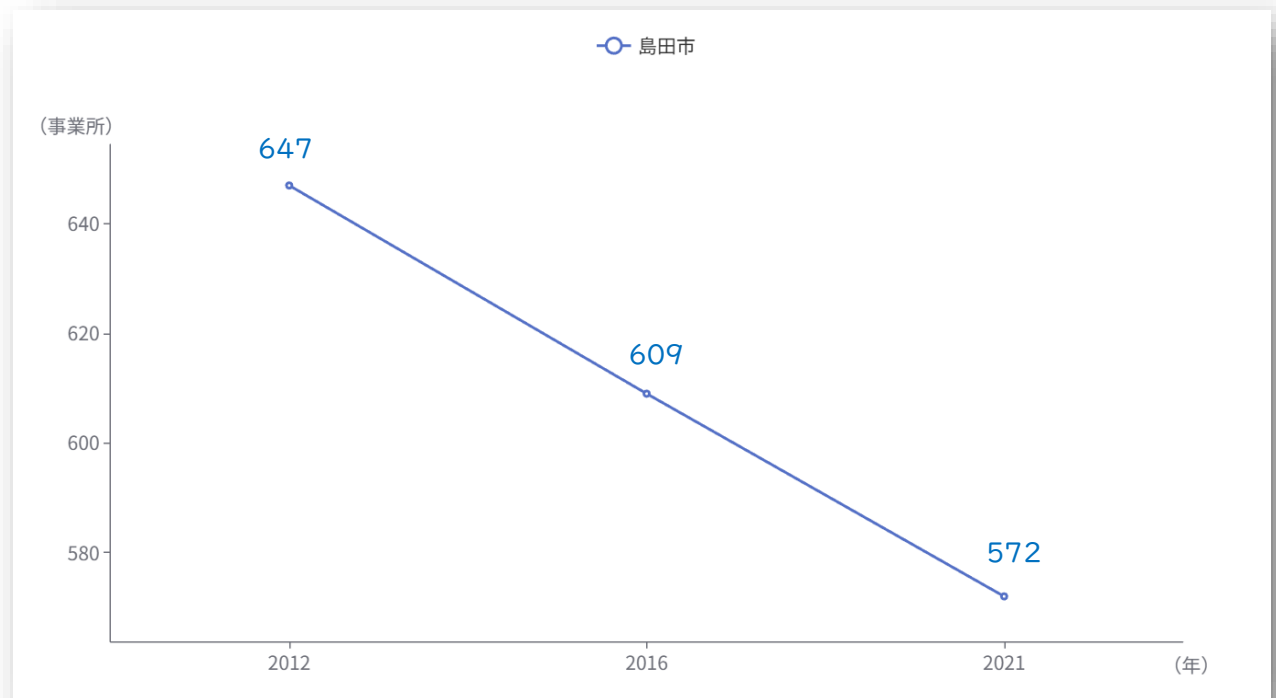
売上高(製造業)の推移 (2021年)

製造業の売上高の推移を示したグラフである。

2021年の売上高は、234,729百万円である。

9年前の2012年と比較すると156,291百万円なので、36.2%増である。

小売業・卸売業



*産業構造マップ→産業構造→推移

事業所数（製造業）の推移（2021年）

製造業の事業所数の推移を示したグラフである。

2021年の事業所数は572事業所、2016年は609事業所であり、2016年と比較すると、6.1%減となっている。

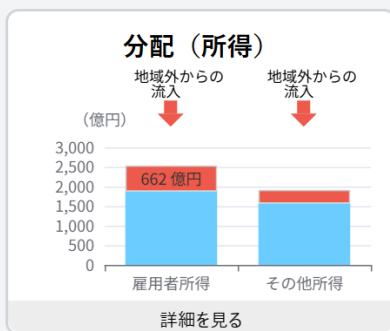
地域経済循環

①島田市の企業は合計3,440億円の付加価値を生み出し、所得へ分配している。

②分配(所得)のうち、地域外への流出、地域外からの流入があり、支出に回される金額は、4,449億円である。

地域経済循環率
77.3%

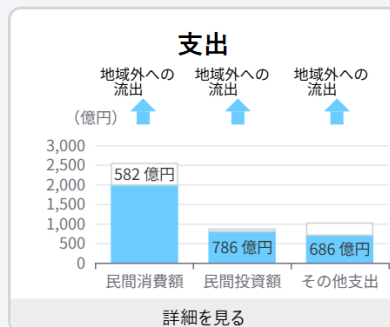
所得への分配
3,440



所得からの支出
4,449



支出による
生産への還流
3,440



*地域経済循環マップ→地域経済循環分析

③市内で支出に使われた金額は3,440億円。市外への流出があるため所得からの支出4,449億円より少ない。

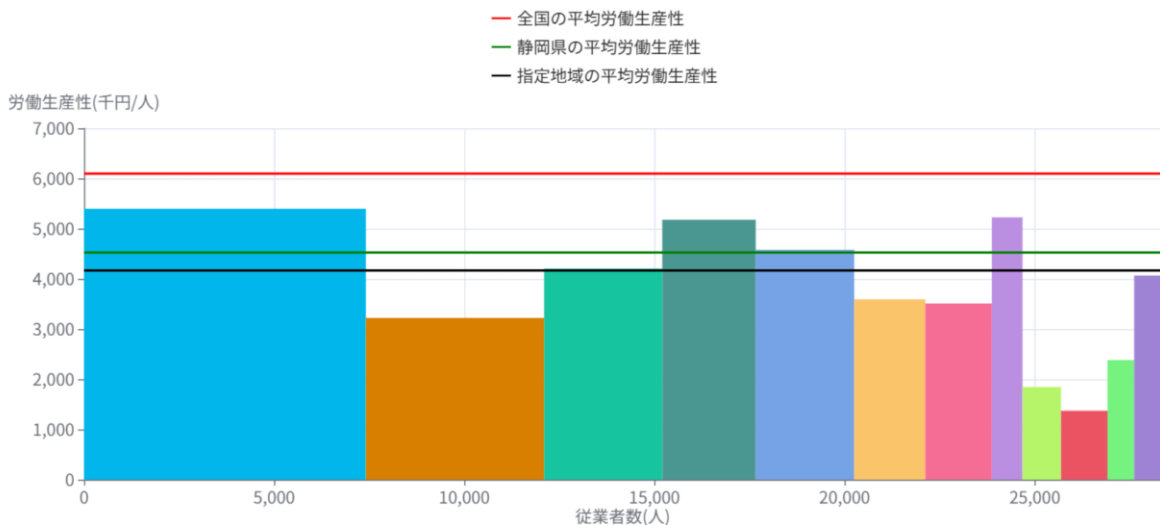
地域経済循環図 (2022年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

地域経済循環

従業者と労働生産性から見る付加価値額

静岡県島田市
2021年



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)	産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
● 製造業	5,395	7,412	39,987	● サービス業（他に分類されないもの）	3,509	1,749	6,138
● 卸売業、小売業	3,221	4,688	15,101	● 学術研究、専門・技術サービス業	5,225	808	4,222
● 医療、福祉	4,203	3,106	13,054	● 生活関連サービス業、娯楽業	1,845	1,012	1,867
● 建設業	5,177	2,457	12,719	● 宿泊業、飲食サービス業	1,372	1,223	1,678
● 不動産業、物品賃貸業	4,578	2,590	11,856	● 教育、学習支援業	2,381	701	1,669
● 運輸業、郵便業	3,592	1,869	6,713	● その他	4,065	713	2,898

「その他」に含まれる産業、データを秘匿・欠測している産業

産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
情報通信業	5,455	279	1,522
鉱業、採石業、砂利採取業	7,013	76	533
農林漁業	1,833	251	460
金融業、保険業	4,174	69	288
電気・ガス・熱供給・水道業	2,966	29	86
複合サービス事業	1,000	9	9

【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

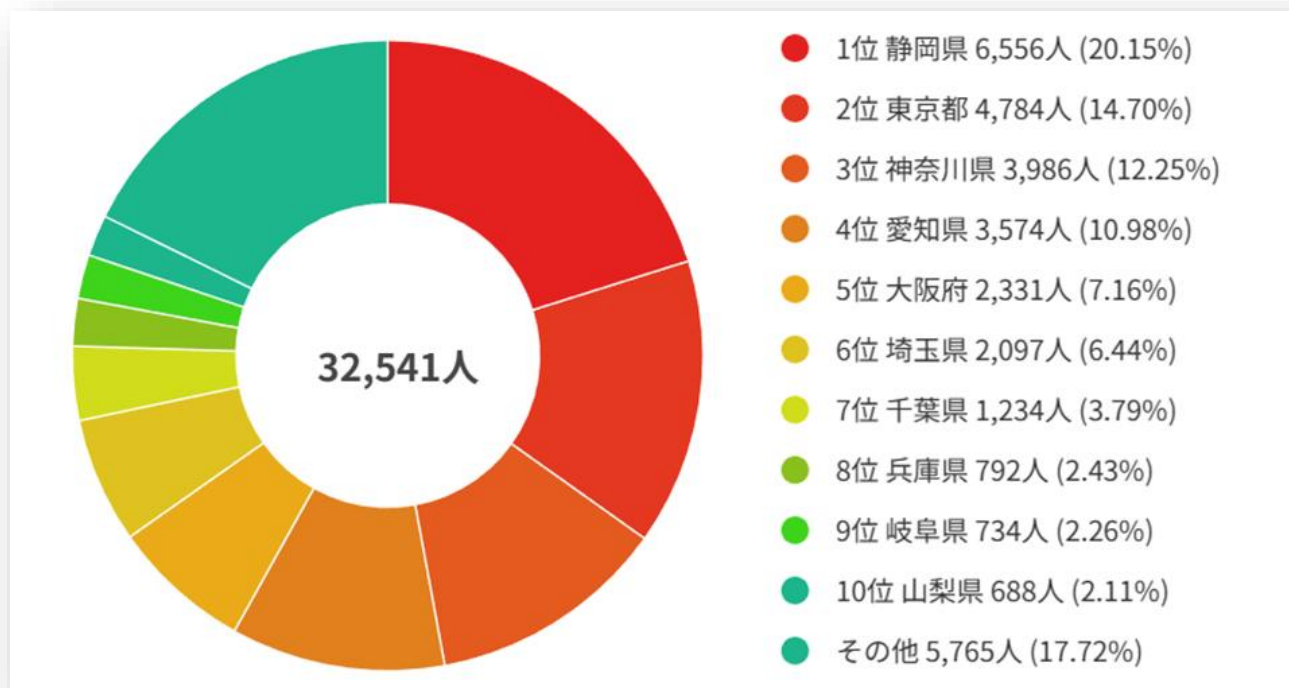
【注記】+

*地域産業マップ→産業構造分析→付加価値額の構造分析

付加価値額の構造分析（付加価値額順/2021年）

X軸に従業者数、Y軸に労働生産性で表される付加価値額（面積）のチャートである。付加価値額の要因が、労働生産性と従業者数のどちらの影響によるものなのかを把握する。島田市では、「製造業」の付加価値額がもっとも大きく、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の順に続く。

観光

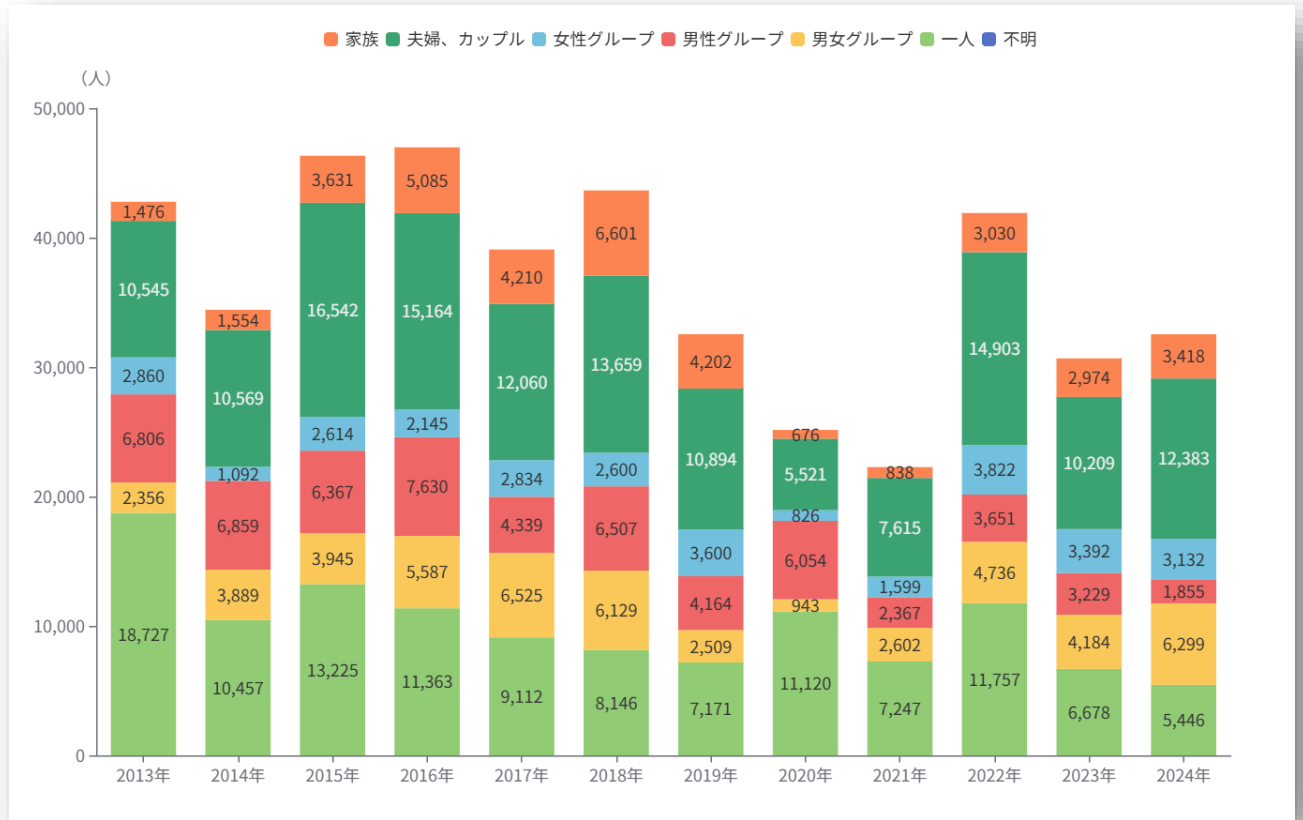


*観光マップ→宿泊者分析→居住別都道府県別

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合（2024年）

居住都道府県別の延べ宿泊者数（日本人）の構成割合を示したグラフである。静岡県が20.15%と最も多く、東京都の14.70%、神奈川県の12.25%が続く。

観光



*観光マップ→宿泊者分析→属性別に見る

属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移

延べ宿泊者数の推移を形態別に示したグラフである。

2024年では、もっとも多いのは、「夫婦、カップル」の12,383人、その後、「男女グループ」の6,299人、「一人」の5,446人と続く。

発行：島田商工会議所
 〒427-0029 静岡県島田市日之出町4-1
 TEL:0547-37-7155 FAX:0547-37-5250
 URL:<https://www.shimada-cci.or.jp/>

